シナリオ小説「ハンバーガーマン」
第1話「誕生！ハンバーガーマン」

1.とある公園＜昼＞
子供達が元気よく遊んでいる。
女の子「おままごとしよー。」
男の子「いいよー。」
その時、太い体の物体三体が男の子と女の子に近寄る。
その一体、額からビームらしきものを男の子に放つ。
男の子「わぁー！」
男の子、体躯が大きくなってしまう。
女の子「キャー！」
空から流れ星のように太い体の物体が落ちていく。
ナレーション「突如、飛来した怪物。奴らは人々を太らせてしまう！」
2.パン屋「わくわくベーカリー」・厨房＜昼＞
天板掃除をしているのは、馬賀イチロー（20)。
「わくわくベーカリー」の主人がやってくる。
主人「よく働くねー。」
イチロー「いえいえ！時給分働きますから!」
すると店内から次々と客、店員が太っていく。
主人「なんなんだこれは！！」
出入り口から謎の青年が現れる。
謎の青年「いやー、高みの見物っと。」
謎の青年、1体の怪物にワシのミニチュアを食べさせる。
怪物「体が・・・たぎる・・・」
怪物、ワシの怪物に変貌を遂げる。
ワシの怪物「ピャー！！」
ワシの怪物、自分の羽を主人に命中させる。
主人「うわーっ！！」
イチロー「主人！」
主人「イチローくん、逃げるんだ！早く！」
イチロー、うなずく。
3.商店街＜昼＞
イチロー、走り続ける。
その時、黒いワンボックスカーがイチローの方へ止まる。
車の後ろの方から若い女性、ミナコが出てくる。
ミナコ「乗って！早く！」
そう言われるままに、イチロー、ワンボックスカーに乗る。
4.高田研究所・六階＜昼＞
イチロー、ミナコと研究員らしき三人に連れられる。
ミナコ、所長室のドアにノックをかける。
ミナコ「所長、連れて参りました。」
所長の声「入りなさい。」
イチローとその他一同、所長室に入る。
5.同・所長室＜昼＞
所長「君が馬賀イチローくんだね。」
イチロー「あなたは？」
所長「私は高田コウゾウ。この研究所の博士で、所長さ。（ウインクする）」

イチロー「なんでオレの名前を？」
所長、穏やかな眼差しから鋭い眼差しへと変わる。
所長「単刀直入に言う。イチローくん、君は大きなプロジェクトに選ばれた。」
イチロー「プロジェクト？」
所長「そう。」
一同、所長室を出て研究室に入る。
6.同・研究室＜昼＞
所長「このバーガーヒーローズプロジェクトに！」
周りにはバーガーヒーローズのマスク、スーツ、変身アイテムが続々と展示されている。
イチロー、驚愕する。
イチロー「オレが、バーガーヒーロー？」
所長「そう。突如出現した存在、メタボリックンに対抗すべくバーガーヒーローズプロジェクトを開発した！メタボリックンは地球上の生物を太らせ、メタボの星にしようと目論んでいる！」
所長、イチローの両肩を掴む。
所長「その時、我が研究所のモニターで犬を助けている君を観た！イチローくん、君の力が必要だ！頼む！」
所長、土下座して懇願する。
イチロー「・・・分かりました。やってみましょう！！」
所長、感激そうに
所長「やった！ありがとう、イチローくん！」
所長、変身アイテムを持つ。
所長「バーガーベルト。バーガーヒーローに変身する事が出来る代物だ！」
所長、ベルトをイチローに託す。
イチロー「・・・絶対に、メタボリックンの陰謀を止めて見せます！」
所長「（うなずく）」
7.光道公園・噴水広場＜昼＞
子どもや親などメタボリックンに被害を受ける。
駆けつけるイチロー。
イチロー「くっ、みんなみんな太っていく！オレもこうなってしまったら・・・！」
その時、ドリンクっぽいものがイチローの頭を叩く。
イチロー「痛てっ！なんだ！？」
オレンジジュース型のドリンクメカ「何早速弱音吐いてるドリン！」
イチロー「お前は？」
オレンジジュース型のドリンクメカ「オイラはドリンク型メカ、ドリンオレンジ！馬賀イチロー！お前の相棒ドリン！」
イチロー「相棒・・・」
ドリンオレンジ「イチロー！せっかく来たんだから、ヤツらを倒さないとキリがないドリン！」
イチロー、ハっとする。
イチロー「そうだったな！目が覚めたぜ！」
イチロー、バーガーベルトを腰に巻く。
そしてハンバーガー型ミニチュア、バガチュアを持つ。
イチロー「メタボリックンは、オレが倒す!」
イチロー、バガチュアをベルトに装填し、左のレバーを押す。
イチロー「バーガーチェンジ！」
そして、黄色のスーツと茶色のマントに身を包み、ハンバーガー型のマスクを装着する。
8.高田研究所・モニタールーム＜昼＞

所長「イチローくん、やっと変身したか！」
9.光道公園・噴水広場＜昼＞
イチロー「正義のヒーロー、ハンバーガーマン、参上！」
ドリンオレンジ「かっけー、イチロー！」
数体のメタボリックン、ハンバーガーマンに襲い掛かる。
ハンバーガーマン、メタボリックンの顔を1発パンチする。
メタボリックン1「ぐあー！」
ハンバーガーマン、メタボリックンの左頬を1発キックする。
メタボリックン2「ぐおー！」
ワシ型の怪人「なかなかやるな！ハンバーガー人間！」
ハンバーガーマン「ハンバーガー人間！？あっ、オレの事か。お前が親玉か！？」
ワシ型の怪人「いかにも！俺はイーグルメタボリックン！俺と勝負しろ！」
ハンバーガーマン「いいぜ！」
イーグルメタボリックン「そうこなくっちゃ！どりゃー！」
イーグルメタボリックン、羽からトゲを繰り出す。
ハンバーガーマン「ぐあっ！」
イーグルメタボリックン「どうした！？来いよ！」
イーグルメタボリックン、また羽からトゲを繰り出す。
ハンバーガーマン「がはっ！」
イーグルメタボリックン「もっと来いよ！」
ハンバーガーマン、倒れてうめきながらこう言う。
ハンバーガーマン「（自問自答しながら）もう、限界なのか？そんなの・・・いやだ！」
ドリンオレンジ「ドリンマジック！」
ドリンオレンジ、なんと小さいドリンク型から大きいバイク型、ドリンバイクへと変形していく。
ハンバーガーマン、立ち上がる。
ハンバーガーマン「お前、こんな事も出来るのか！よーし！」
ハンバーガーマン、ドリンバイクに乗って走り回る。
イーグルメタボリックン「待てコラ！」
ハンバーガーマン「ここまでおいでー！」
イーグルメタボリックン「ふざけんな、くらえ！」
イーグルメタボリックン、羽からトゲを出す。
ハンバーガーマン、バイクではじく。
イーグルメタボリックン「ぐあっ！」
ドリンバイク「イチロー！ベルトのレバーを2回押すドリン！」
ハンバーガーマン「2回だな！」
ハンバーガーマン、ベルトのレバーを2回押す。
10.高田研究所・研究室＜昼＞
ハンバーガーマンの武器の1つ、ケチャップガンが転送される。
11.光道公園・噴水広場＜昼＞
ハンバーガーマン、ケチャップガンを持つ。
イーグルメタボリックン「（ケチャップガンを見て）おい、なんだよ！」
ドリンバイク「そしてレバー三回で必殺技ドリン！」
ハンバーガーマン「これでとどめだ！」
ハンバーガーマン、ベルトのレバーを3回押し、ケチャップガンのトリガーを引く。
そして、ケチャップガンの弾がイーグルメタボリックンに当たり、弾がケチャップのように液状になる。
イーグルメタボリックン「もう終わりー！？」

イーグルメタボリックン、爆発する。
ハンバーガーマンとドリンバイク、爆発の後ろに向ける。
ハンバーガーマン「やったー！！」
ドリンバイク「やったドリン！」
12.高田研究所・モニタールーム＜昼＞
ミナコ「やりましたね！」
所長「ああ。だが、戦いはこれからだ！あと４人を見つけなければ！」
13.光道公園・噴水広場＜昼＞
ナレーション「ついに始動したバーガーヒーローズプロジェクト！それに選ばれた彼らはどんな道をたどるのか！？みんなで応援しよう！」

ー続くー



